

過去の記録を統合解析し、超学際的な課題に挑む

歴史ビッグデータ

<http://codh.rois.ac.jp/historical-big-data/>

どんな研究？

人文学、理学、工学にまたがる連携により、構造化された歴史情報を蓄積し、現代のビッグデータと同様に分析することで、過去の環境や社会の状況を復元するための基盤を構築する。

何がわかる？

過去のさまざまな事象（たとえば、飢饉など）の複合的な課題を、分野横断的な枠組みで歴史的な分析をし、再考することで、新しい発見や新しい歴史の研究につながる。

研究内容

歴史ビッグデータ

歴史資料（史料）を利用するさまざまな分野の人々が協働し、情報基盤を構築し、活用し、研究を促進する枠組み。

- 分野横断的な協働：歴史ビッグデータ研究会・各共同研究
- 多分野の協働による情報基盤：データ構造化・れきすけ



出典：*1早稲田大学図書館古典籍総合データベース・*2国立国会図書館デジタルコレクション

れきすけ 史料に関する知識・経験を多分野で共有

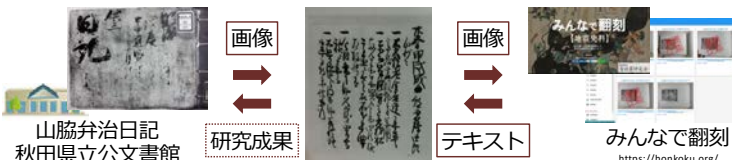
利用してほしい・教えてあげたい 探している

史料に〇〇の記録を見つけた。もっと史料を利用してほしい。
〇〇に関する記録がある史料を探す。研究などに史料を利用したい。



複数の登録者対応

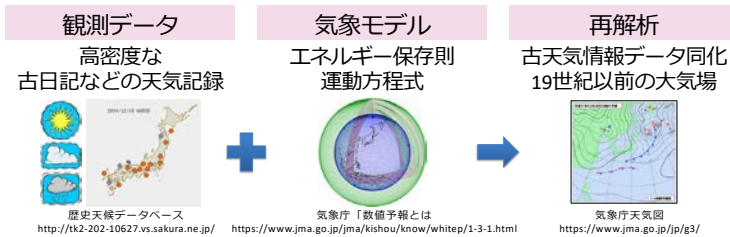
一つの史料の情報をカードに分割し、それらのカードを相互にリンク。



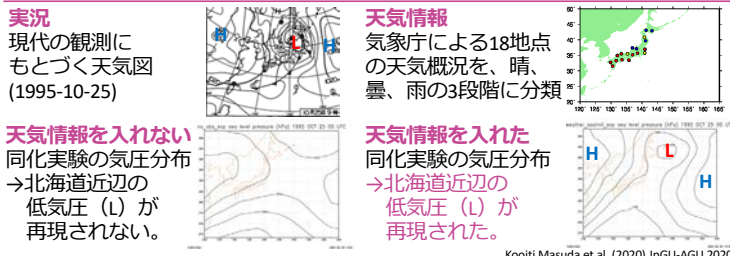
Mika Ichino & Koiti Masuda (2022) GEOSCIENCE DATA JOURNAL, WILEY Open Access. DOI: 10.1002/gdj3.148
市野美夏, 増田耕一, 北本朝展 (2020) じんもんこん.2020論文集

ミレニアム再解析

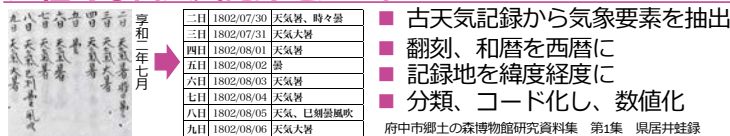
古天気記録で気象モデルを拘束するデータ同化手法を駆使し、過去の気候・気象（気圧、気温、降水、風など）を再現する。



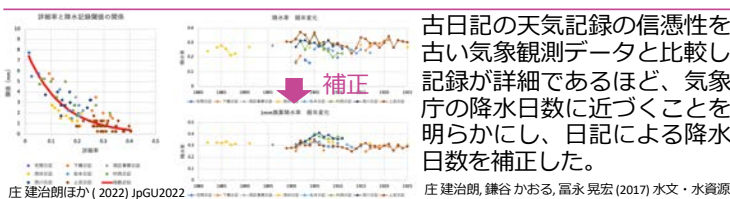
分類した天気を日射量に変換しデータ同化



定性的な古天気記録を定量化



古天気記録の詳細率で降水日を補正



古天気記録と米価でみる天保飢饉



連絡先：市野美夏 ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センター / 国立情報学研究所
TEL : 03-4212-2584 FAX : 03-4212-2612 Email : m_ichino@nii.ac.jp